

令和 4 年度 施策評価表

施策	0501	健康づくりの推進	施策担当部	福祉保健部	部長	吉村 武史
			施策担当課	国保けんこう課	課長	前川 靖彦
施策の方針	身体と心の健康づくりや食育の推進など、市民の健康寿命を延ばす取組を推進する。					
関連するSDGsのゴール	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>2 飢餓をゼロに</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>3 質の高い健康と福祉を</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> </div> </div>					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R3年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 特定健診の受診率	%	36.9	40.0 36.9	45.0	50.0	50.0	50.0	92.3%	73.8%
② メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合	%	26.9	23.5	21.8	20.0	20.0	20.0		
③ 食育に関するボランティア等の人数	人	256	350 226	360	370	380	400	64.6%	56.5%
④ むし歯のない子どもの割合（12歳児）	%	70.8	73.0 75.0	74.0	75.0	75.0	75.0	102.7%	100.0%
⑤ 自殺対策のゲートキーパー養成講座延べ受講者数	人	1,175	1,800 1,483	2,050	2,300	2,550	2,800	82.4%	53.0%

施策達成状況の説明

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えがまだあり、目標値には届かなかったが、AIによる勧奨はがきの発送やイベント時のチラシ配りなどを実施したことにより、令和2年度の31.2%から大きく増え、令和元年度（新型コロナウイルス感染症流行前）に迫る実績となっている。
- ② R3実績値はR4.9月以降確定
- ③ 食育に関するボランティアのうち、食生活改善推進員は122人と約半数を占める。食生活改善推進員は平均年齢が高く、新規の養成者よりも辞退者が多く推進員数が減少した。
- ④ むし歯のない子どもの割合は、家庭、保育・教育施設、小・中学校での歯磨きやフッ化物洗口等の取組により、目標値を達成した。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い講座が開催できず目標値達成できなかった。

施策経費

(単位:千円)		R3年度 決算	R4年度 予算	R5年度 見込	特記事項
内訳	事業費	1,360,913	1,326,903	353,301	
	国庫支出金	1,047,159	985,211	4,289	
	県支出金	53,119	67,092	67,047	
	地方債	0	0	0	
	その他	18,703	19,380	21,122	
	一般財源	241,932	255,220	260,843	
	人件費	174,636	135,368	—	
フルコスト	1,535,549	1,462,271	—		

施策の概要（細施策）

050101	みんなで取り組む健康づくり	「自分の健康は自分でつくる」を基本に、一人ひとりが自分の心身の状態を知り、適切な生活習慣を維持できるよう、特定健診やがん検診、心身の健康に関する情報発信を推進するとともに、健康教室、各種イベント等を実施します。 また、身近な地域で市民の健康づくりをサポートする人材や組織を育成することで、みんなで楽しみながら取り組む健康づくりを推進します。
050102	食育の推進	市民が「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を送れるよう、食育情報の発信や食育活動を推進します。 また、関係機関や団体等と連携・協力し、市民が自ら食育活動を実践できる環境づくりに取り組みます。
050103	歯・口腔の健康づくり	健康な歯を保ち、食生活を楽しみながら、いきいきと暮らすことができるよう、「むし歯」と「歯周病」の予防のため、歯科検診や歯・口腔に関する情報発信を推進します。
050104	いのちを守る自殺対策の推進	市民一人ひとりが、身近な人の悩みや心の危険信号などの自殺のサインに気づき、ゲートキーパーの役割を担えるよう啓発活動を行います。 また、関係機関や団体等とのネットワークを更に強化し、官民一体となって自殺対策を推進します。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

- ①新型コロナウイルス感染症の影響により、特定健診の受診控えがあったが、令和3年度は令和元年度に迫る受診率へと戻すことができた。引き続き、積極的な受診勧奨を行っていく必要がある。
- ②コロナ禍でもあり食生活改善推進員養成講座の受講者数が少ない状況にある。今後、食生活改善推進員以外の食育ボランティアの登録を働きかける必要がある。
- ③自殺対策のゲートキーパー養成講座については、コロナ禍で開催が難しい中、オンラインによる職員向けの講座を開催するなど新たな試みを図った。今後、民間団体等へ積極的に働きかける必要がある。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

- ①国民健康保険証の送付時にチラシを同封するなど、ターゲットや時期を考慮しながら取り組んでいるところである。今後も掘り起こしが必要な受診勧奨対象者をしっかりとターゲットングしてアプローチをしていく必要がある。

令和5年度新規事業

	事業名	担当課	令和5年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	